



人口	世帯	(10月1日現在)
人口	188,977人	(前月比+110人)
世帯	58,233世帯	(前月比+19世帯)



尊徳にちなんだ作品もたくさんありました(二階展示室で)

子ども会文化祭 第1回 を開催

今市市・岸和田市の参加も

十一月三日市民会館で、第一回の子ども会文化祭が行なわれました。今まで、子ども会の行事はスポーツ関係が多かったため、文化事業にも力を入れようと検討が続けられていました。一宮尊徳生誕二百年を記念して今年から始められたものです。

今回の文化祭には、市内二十六学区の子ども会が参加し、また、姉妹都市今市市と友好都市岸和田市からも参加がありました。児童たちは大ホールでの合唱や劇に、



舞台では鼓笛演奏や劇、合唱などが行われました

また展示室での書道や絵の展示に練習の成果を発表しましたが、市内から集まったたくさんの子どもたちで会場はにぎわっていました。文化祭は、今後子ども会の文化事業として続けられます。

収穫や糖度の測定を

小学生の農業体験学習会で



農家の指導で正しいもぎ方を学ぶ

十一月八日、根府川地区でミカンの収穫を体験する農業体験学習会が開かれました。

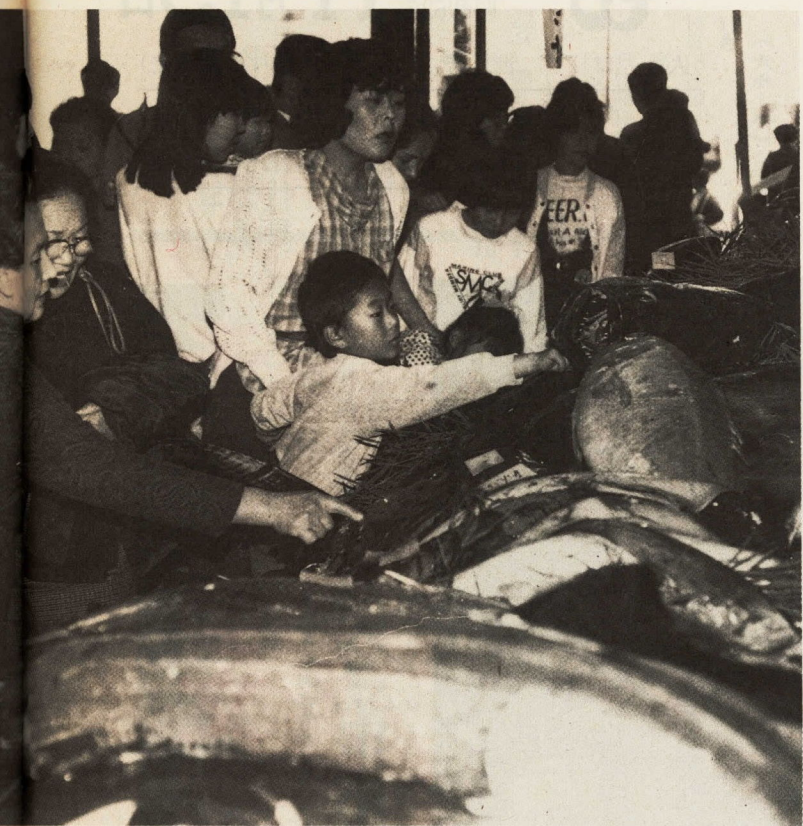
この学習会は、農業に接する機会のない子どもたちに実際の農作業を体験し、農業に正しい関心を持つため、小学校四年生～六年生を対象として開催されました。

参加した小学生たちは収穫を行なった後、糖度計でミカンの甘さを計ったり、県園芸試験場根府川分場でミカンやキウイフルーツの説明を受けて、日ごろ見ることでできない農業の姿を体験し、大喜びでした。

あなたの写真を フォトニュースに



- 市はみなさんから写真を募集しています。
- 昨年度から市は、市内の出来事や催し物、風物などを写真で紹介する「おだわらフォトニュース」を発行していますが、次回(12月15日に発行予定)のフォトニュースに使う写真を公募することにしました。
- このフォトニュースは市内の学校、公共施設、病院、金融機関などに掲示され、みなさんに親しまれています。
- 今回募集する作品は2点です。あなたの自慢の腕でカメラに収めた作品をどしどしお寄せください。
- なお、今後も機会を見て作品を公募する予定です。
- ◆題材 市内の秋の行事など(さかなまつり、青果まつり、農業まつり、いこいの森の行事など)
- ◆フィルムサイズ カラーポジフィルム(35ミリ、6×6、6×7サイズ)
- ◆応募方法 撮影したフィルムに簡単な説明(100字程度)を付けて応募してください。郵送でも受け付けます。
- ◆応募できる作品 今年の11月以降に撮影した写真で、未発表のもの
- ◆応募数 制限はありません。何点でも結構です。
- ◆応募資格 市内在住の方
- ◆締切り 11月30日(月)
- ◆応募先 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所広報課広報係
- ◆審査 市が委嘱する審査員が審査します。審査の結果は採用者に電話で通知します。
- ◆謝礼等 採用作品には記念品を、応募者には参加賞を差し上げます。
- ◆その他 ①採用作品の著作権は市に属します。
- ②応募作品はお返しします。
- ◆問い合わせ 広報課広報係 ☎3312 61



さかなまつり

さかなまつりが今月の七日の土曜日と八日の日曜日に開催されました。これは、魚介類や水産加工品に対する消費者の認識を高め、食生活の向上を図り、併せて水産業界の振興を図るために、毎年開催されているもので、今年で二十九回目を迎えます。会場となった市民会館では、生鮮魚介類・参考料理・活魚の展示、料理の実演、氷の彫刻、即売、魚に関する映画の上映、小学生の絵画の展示など多彩な催しが行われ、子どもからお年寄りまで、大勢の人出でにぎわいました。



新鮮で安い即売は大人気

会場は大にぎわい 展示 即売 実演などが

小田原には四つの港・大きな魚市場があり、沿岸漁業やかまぼこ・干物など水産加工品など、漁業や関連産業が盛んです。食卓に上るさかなが



四十二キロで、刺身になると千八百人分もとれる大きさをした。このほか、体長二メートルを超えるイトマキエイやカジキマグロなど珍しい魚もありました。

会場を訪れた子供たちは、見慣れない魚に喚声を上げていました。また、生きたままの魚も、イトヒタイ、ミノカサゴ、キントキダイなど養殖魚や鑑賞魚を中心に展示されました。

料理実演のコーナーでは、大衆魚をおいしく食べる料理の方法などが紹介され、お母さんたちが熱心に見入っていました。



何という名前であり、それがどこで捕れ、どのような経路を通して、どのように調理されるのか、十分に知ってもらい、理解を一層深めてもらうことが、さかなまつり開催の趣旨です。

多彩な催しの中で、いちばん



税の作文コンクール

優秀賞に市川絵理さんら

「中学生の税に関する作文」コンクールの小田原税務署管内の入賞者が決まりました。これは、全国納税貯蓄組合連合会の主催で毎年行っている。

しめ飾りを作る会

参加者を募集



しめ飾りを作る会 (豊川小で昨年)

郷土文化館では体験学習として、「しめ飾りを作る会」を開催します。参加して、来年のしめ飾りを自分

- ◆対象 小学校四年生以上
- ◆定員 三十人(先着順)
- ◆費用 千円(材料費)
- ◆指導 青木正一さん
- ◆持参するもの 筆記用具・はさみ・食卓など
- ◆服装 作業しやすい服装
- ◆申込み 十月六日(日)から郷土文化館で受け付けますので、直接または電話(0231-327)で申し込んで下さい。
- ◆日時 十月二十日(日) 午前九時三十分～午後二時三十分
- ◆会場 郷土文化館会議室

市融資制度のご利用を

市内の中小企業者を対象に融資を行っていますのでご利用ください。

- ◆中小企業小口資金
- ◆運転資金 貸付限度額300万円 期間4年以内(6か月据置) 年利5・00%
- ◆設備資金・運転設備併用資金 貸付限度額500万円 期間5年以内(6か月据置) 年利5・20%
- ◆申込みは商工課商業係へ
- ◆中小企業歳末資金
- ◆運転資金 貸付限度額200万円 期間6か月以内 年利4・75%
- ◆申込みは小田原信用金庫へ
- ◆お問い合わせ 商工課商業係 ☎1511

農地転用許可申請等の受付

市街化調整区域内の農地転用許可申請・農地法第三十三条許可申請(農地のまま取得及び借受ける場合)・農地法第二〇条第六項の通知(小作地の合意解約)・贈与税及び相続税の納税猶予に関する適格証明願については、12月5日(土)に受付を締め切ります。なお、市街化区域内の農地法の届出については、従来どおりです。

版画教室 参加者募集

図書館では「やさしい版画をつくる会」を開催します。年賀状を自作の多色刷りの版で作りましょう。今年は、



珍しいおだわら目撃記

自立更生者を表彰

川口伴七さんと摩治秀彦さん

秋たけなわの十月十八日に自立更生者が市長から表彰されました。この日は、城内小学校校庭で障害者スポーツレクリエーション大会が開催されましたが、表彰式は、その開会式で行われました。

今回表彰されたのは、次の二人です。

川口伴七さん
小学校卒業後、表具師へ奉



公にいく。昭和十八年戦地で受傷。昭和二十一年復員後現住所(多古)で表具店を開業し、現在に至る。戦後の混乱期の中、両耳の不自由にもかかわらず、持ち前の忍耐と努力により、独力で表具店を開業経営し、現在は後進の指導にも当たっています。また、昭和四十九年からは傷い軍人会の役員としても活躍されて



和五十八年からは、肢体障害者福祉会の役員としても活躍されています。

三三三法律メモ

離婚時は養子 離縁も忘れずに

子ども連れで母親が再婚し、相手である夫がその子どもと養子縁組し、その後、母親は



「税について」 市川理理八町の二十五の中学校から千六百五十五の作品が寄せられました。十月六日に行われた審査の結果、本市では二十五人の作品が入賞しました。この中で優秀賞を受賞した作品は県を通じて全国コンクールに出品されます。

◆優良賞
佐藤孝子(城山中) 石井友佳子(白鷗中) 石井由美(白鷗中) 山川有紀子(白鷗中) 下田佳子(白鷗中) 津津晶子(鴨宮中) 内尾美輝子(千代中) 内田真由美(酒匂中) 一斗久美子(片浦中) 石黒かおり(泉中)

◆佳作
山崎愛子(城山中) 衛藤和子(城山中) 村山美香(城南中) 前野裕美(国府津中) 森本晶子(片浦中) 香川仁(泉中) 大石和美(泉中) 山口大介(城北中) 塩塚剛史(城北中) 高須賀京子(城北中)

筆随尊徳 連載二

尊徳の思想 I

高田 稔

(元・市教育研究所長)

《第8回》

二宮尊徳が、その後半生において難村復興にみせた優れた現実的処理の仕方、単に彼の経験からたらされたものではない。その中心的な骨組みに独自の哲学があったからである。

人が寝静まってから、そっと見てようやく四書だけ一通り習った」といっている。尊徳が実際に読んでいたのは四書(大学・論語・中庸・孟子)のほかに、五経(易経・詩経・書経・春秋・礼記)や史書、仏書などに及んでいる。彼の儒学研究が一段と進んだのは、彼の遺した日記から推測して二十五歳ごろから三十歳ごろであったと思われる。この間、四書五経などの自習書「經典余師」を大金を投じて買って、また服部家に住み込み中は若殿の供をして儒学塾に通い、ここで藩儒・宇野権之進に認められ、服部家から帰ったのちまで、その

指導を受けたようである。しかし、尊徳は生涯を通じての特定の師はもたなかった。また、これといった学派にも属していない。朱子学でもなければ陽明学や古学でもなく、經典の解釈はまったく自由な立場をとっている。

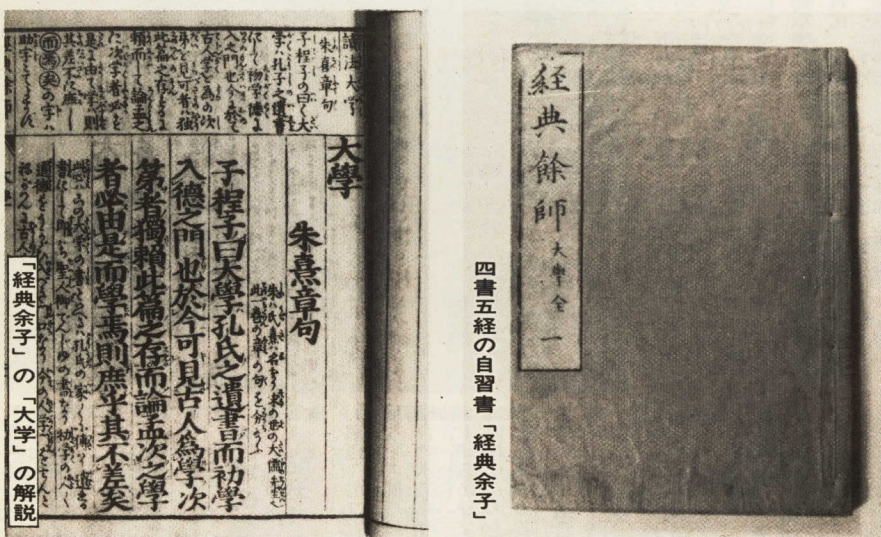
彼の学問に対する態度は、おのれの個人的体験を事物で吟味することによって、その体験を客観化、普遍化するのことにあった。この徹底した経験主義がしばしば独創的な思想を生みだしている。

天道と人道
朱子学では、道徳や君臣、親子の上下関係は月日の運行と同じく天が与えた権威ある道(天道)であるから、動かすことのできぬ絶対のものとしていた。だから天道に従うことが人として守るべき道(人道)であるという「天人一致」の思想によって貫かれていた。

ところが、尊徳はそれは違うというのである。彼によれば、寒さが過ぎれば暑さがある。夜があれば昼になる。万物が生ずればまた滅びる。これは天道である。また、天は生物すべてに恵みを与えるが、善悪の心はもたないから稲と雑草の区別はない。それを放っておけば田は荒地にもどってしまう。これも天道なのだ。

人は天道にしたがって生まれてきたけれども、米を作ることを善とし、雑草をばいこらせることを悪として田から雑草を取り除くことに努めねばならない。それが人道なのである。

北方領土 明日の復帰へ今日の声



お し ら せ ・ お し ら せ ・ お し ら せ

《引取場所と時間》	
引取場所	時 間
片浦支所(寺山神社)	9時30分
早川支所(駅前駐車場)	9時55分
大窪支所	10時10分
中央連絡所(めがね橋)	10時30分
市役所(西側駐車場)	10時50分
富水連絡所	11時15分
桜井支所	11時35分
曾我支所	13時00分
下曾我支所	13時20分
上府中支所	13時35分
豊川支所	13時55分
下府中支所	14時15分
酒匂支所	14時40分
国府津支所	15時00分
橘支所	15時20分

飼えない犬猫 引き取ります

11月の引取日は、27日(金)。
時間と場所は表のとおり。次のことに注意してください。

①印鑑を忘れず②停車時間は10分間。遅れないように③猫は麻袋又は布袋等に入れて④14日以内に人をかんだ犬は引き取りません。人をかんだことを保健所へ連絡を⑤大型犬・傷病犬・人をかむくせのある犬は直接県動物保護センターへ。

◆保健所 犬は月曜・金曜、猫は祝日以外の水曜、いづれも午後1時30分まで

◆問い合わせ
生活環境課 ☎31486
保健所環境衛生課 ☎223
135内線31・32

知っていますか 犬の習性

犬には次のような習性があります。犬による事故を防ぐには、この習性を理解して、接することが必要です。

◆犬はよく服従する
○飼い主が変わるとなじまないことがよくある
○飼い主のそばにいないと気が強くなる

◆犬は穴を掘る
○困りから穴を掘って抜け出すことがある

◆犬は警戒心が強くナワバリを持つ
○ナワバリ内に入るものを攻撃することがある
○知らない犬に近づいたり、子持の犬に近付かない

◆犬には狩本能がある
○犬の前で急に走り出すと追いつけることがある

◆犬は穴を掘る
○困りから穴を掘って抜け出すことがある

◆問い合わせ
生活環境課 ☎31486
保健所環境衛生課 ☎223
23135

小学校体育大会の結果 (追加)
11月1日号掲載記事の小学校体育大会の結果のうち、女子走り高跳びの優勝者(同記録で2人が1位)を追加します。

○国原芳美(千代) 1
メートル32大会新記録

◆会場 図書館会議室・子どもクラブ室
◆対象 小学校3年生～6年生

わたしの提案

◎下水道整備計画のお知らせ



下水道管の埋設工事にご協力を

■下水道の整備計画を広報紙等でお知らせください(酒匂 内田七さん63歳)

川東地区に下水道の左岸処理場ができて既に数年たつていますが、地区の配管計画がよく分かりません。広報紙等でお知らせください。

◎お答え

市の下水道は昭和三十四年に整備事業を始め、着々と整備区域を拡大してきました。

また、県の酒匂川流域下水道事業は、左岸処理場が五十七年に処理を開始し、右岸処理場も現在建設の準備が進められています。

ご存じのように、下水道管の布設には多額の経費を必要とします。市では、年次計画に基づいて下水道の整備を進め、やがては全市域を整備していきます。

ご指摘の地域の事業計画については、それぞれの地域の事業の着手のときに広報紙でお知らせしています。また、毎年四月には、三年以内の水洗化区域となる地域を広報紙でお知らせしています。

なお、酒匂地区も順調に整備される予定ですが、しばらくの間ご不便をお掛けします。

この件についての詳しいことは、下水道建設課(☎331623)までお問い合わせください。

お知らせ・お知らせ

給配水管の漏水調査にご協力を

水道部では、給水管や配水管が漏水していないか調査をしています。来年3月15日まで、市街地と酒匂、国府津地域の漏水調査を業者(株)ニッシン水道研究所へ委託して行いますので、調査員が宅地内に立ち入る際はご協力をお願いします。

燃えないゴミの分別収集を

市では、燃えないゴミの収集を三週間に一回(一部の地域を除く)の日程で、市内全域において実施しています。最近、燃えないゴミの中にプラスチック製おもちゃ、台所用品の容器、履物類等の燃えるゴミが混入されて、持ち出されています。これらの分別収集を

指定された期日の時間を必ず守って搬出するようにしてください。

ごみに関するお問い合わせは、環境事業センター(☎7325)へお願いします。

水道の修理は修理センターへ

家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は、管工事協同組合の水道修理センターへ。特に希望がある方は公認業者に直接申込みを。ただし、公認業者以外は修理できません。公道内の水道管は市が無料で修理します。漏水箇所を発見されましたら工務課維持係へ連絡を。宅地内は有料です。蛇口パッキンの取替等は自分でできます。公認業者が水道材料店でパッキンを買って、メーター器内の止水栓を止めてから修理を。なお、橋地区については県営水道です。詳細は県企業庁水道局二宮営業所(☎04638111)へお問い合わせください。

小学生と保護者の公共施設見学会

◆日時 12月25日(金)午前9時～午後3時

◆対象 市内の小学生と保護者(4年生以上は保護者同伴でなくても参加できます)

◆定員 40人(20組)

◆見学会 市のマイクログラスを利用して消防署、青果市場、高田浄水場、環境事業センター、緑化センターを見学

◆用意する物 弁当、水筒

◆申込み 11月30日までに広報課広報係(☎331263)へ電話で申し込みください。定員を超えた場合は抽選です。

冬休みの一日、親子で参加する公共施設見学会を開催します。参加費は無料です。奮ってご参加ください。

所(☎04638111)へお問い合わせください。

◆お問い合わせ 水道修理センター ☎33720 工務課 ☎331667(夜間 ☎42554)

江の島で女性映画のついで

今、多様化する家族の形態や「家族」とは何かを、映画の後、講師の話聞き、話し合い、考えます。

◆日程・作品 (11月)21日「家族ゲーム」83分

28日「鉛の時代」81分

12月5日「プレイス・イン・ザ・ハート」84分

12日「エミリーの未来」84分

19日「芽ばえ」74分

◆講師 フリーライター村瀬春樹さんほか

◆会場・時間 県立婦人総合センター 午後1時～4時

◆定員 各日500人

◆入場料 無料

◆申込み及び問い合わせ 県立婦人総合センター生涯学習部 ☎04662111

伝言板

パソコン教室に参加しよう

小田原高等職業技術校では、パソコンに興味のある方を対象に次のとおりパソコン講習会を開催します。ご参加ください。

◆日程

○BASIC入出力文 12月9日(木)、10日(木)、11日(金)の3日間

○BASIC演算と配列 12月14日(月)、15日(火)、16日(水)の3日間

港湾短大で学生を募集

来年4月、横浜に港湾職業訓練短期大学校が開校します。この学校は雇用促進事業団が港湾産業界の要請にこたえて

設置しますが、次のとおり学生を募集しますのでお知らせします。

◆科目 港湾流通科、港湾運輸科

◆定員 各科目20人

◆応募資格 高校を卒業した方(来年3月卒業見込みの方を含む)又は、これと同等以上の学力を有すると認められる方

◆願書受付 1月18日(月)～2月3日(水)

◆試験日 2月24日(水)

◆試験会場 神奈川県農業会館(JR根岸線、根岸駅下車徒歩2分)

◆試験科目 英語、数学、国語

◆受験料 1万2千円

◆年間授業料 16万7千円(入学金は不要)

◆合格発表 3月3日(木)

◆問い合わせ 港湾職業訓練短期大学校横浜校開設準備

11



輪投げ屋もにぎわう手作りの下中まつり

ぼくの学校 わたしの学校

中 小学校

《29》

私たちが下中・小学校は、小田原市の小学校の中で一番東にあり、今年で九十六年の歴史を持つ伝統ある学校です。自然に恵まれたとてもすばらしい所で、北に四季おりおりの美しい姿を見せる丹沢の山々が望めます。近くには桜の馬場という桜の名所があり、春になるとお花見の人々でにぎわいます。

学校のまわりには田畑が多

く、一年中違った農作物を見ることが出来ます。また、牛を飼っている農家が多いのも下中地域の特色です。

校庭の東側には、農家の畑の一部をかりた学校農園があります。毎年、ジャガイモ、サツマイモ、トウモロコシ、ホウレンソウなどを作り、収穫しています。

このように、私たちは豊かな緑に囲まれているので、たいへん落ち着いたふんわりとした生活しています。

それは、本年度の児童会の行事を紹介いたします。

児童会の行事は、一年生から六年生まで六十班に分けたたわりグループをもとに活動しています。

五月には、新入生歓迎の小運動会を行いました。一年生でも簡単にできるようなやさしい種目を工夫し、楽しいひとときをすごしました。

(児童会代表 久保村知彦)

七月には、初めての試みの「下中まつり」を行いました。おみこしコンクールやお店屋さんごっこなどを楽しみました。おみこしの数は二十台。各グループがそれぞれアイディアを出し合い、はなやかなおみこしができました。

お店の方は、ボーリング屋、お面屋、輪投げ屋など多数のお店がたちならびました。どのお店も大にぎわいで、来年もぜひやりたいと好評でした。

今後の予定としては、「オリエンテーリング」や「お正月集会」を行いたいと思っています。

これからも児童会では全校のみんなが協力し合い、楽しい学校生活ができるような行事を行い、思いやりにあふれた学校にしていきたいと思っています。

お知らせ・お知らせ